

# にのみやまちとしょかん 図書館だより



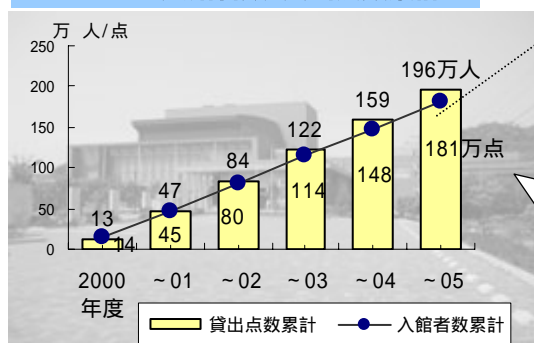
第24号

## 特集

## 開館6周年を迎えて ~グラフでみる利用統計&蔵書構成~

新図書館が開館して6年。図書館がこれまで順調な歩みを進めてこられましたのも、町民の皆様のご支援、ご協力の賜物と感謝申し上げます。少子高齢化、多様化する社会の中で、図書館サービスも充実・進展していかなくてはなりません。今後も図書館の役割・機能をよりPRしていく一方、新たな利用者の獲得、蔵書公開、各機関等との連携等を進めていきたいと思っています。町民の皆様のより一層のご利用、ご支援を職員一同心よりお願いいたします。

### 【グラフ】入館者数・貸出点数累計



2005年度  
入館者数: 330,325人  
貸出冊数: 297,287冊  
(図書+雑誌)  
貸出点数: 71,784点  
(AV)

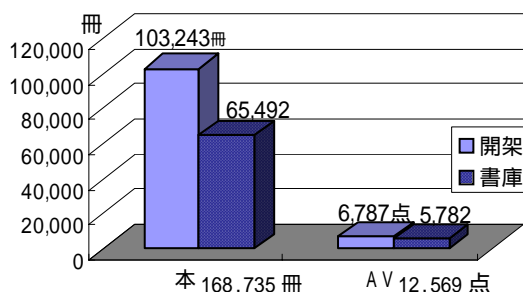
一日平均にすると...  
入館者数: 1,193人  
貸出冊数: 1,073冊  
(図書+雑誌)  
貸出点数: 259点(AV)  
予約件数: 40件  
(リクエスト含む)

今回の特集では、6周年を迎えた二宮町図書館の利用統計と蔵書構成を、グラフでみていきたいと思います。

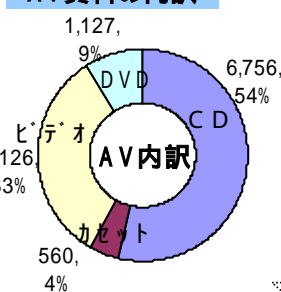
この6年間で貸出点数は200万点を越え、また入館者もこの10月で200万人を突破しました。これは町民が1人あたり1年に10回以上来館され、10点以上貸出を受けられたこととなります。昨年度までの入館者数・貸出点数の累計は【グラフ】のとおりです。県内市町村における利用率は1位2位を争うほどの高い利用率となっています。

2006年3月末現在での蔵書冊数は、16万8735冊、AV資料点数は1万2569点です。開架と書庫(閉架)のバランスは、全蔵書の約6割が開架、4割が書庫となっています【グラフ】。

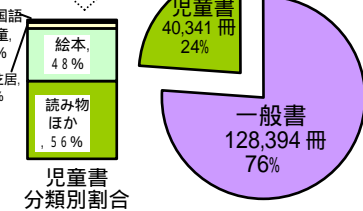
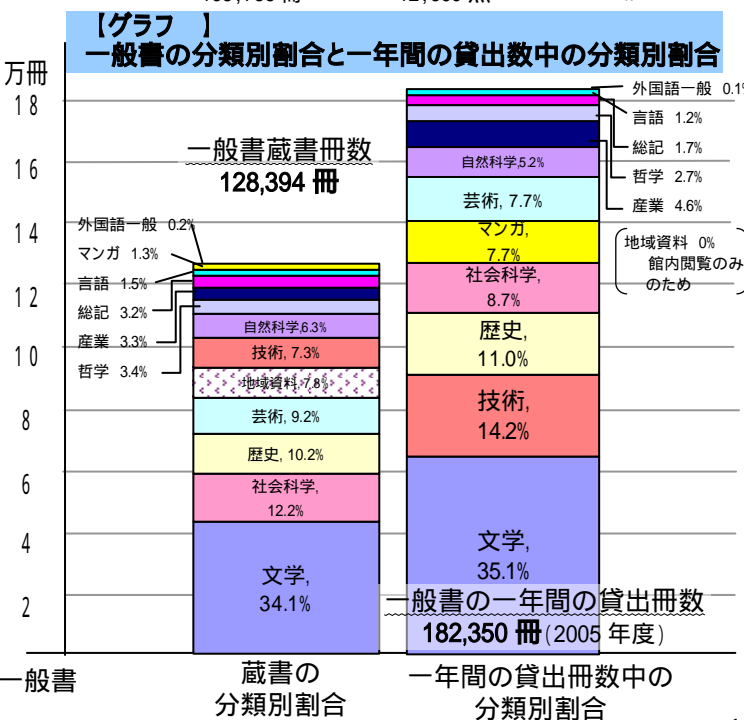
### 【グラフ】開架と書庫(閉架)の割合



### 【グラフ】AV資料の内訳



### 【グラフ】一般書と児童書の割合



AV資料の内訳は、CDが5割を占め、ビデオが3割、DVDが1割という状況です【グラフ】。

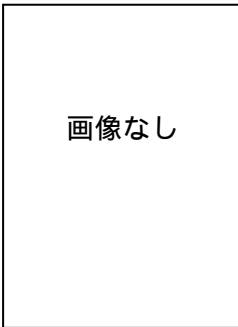
蔵書を一般書と児童書でわけてみると、一般書は76%、児童書は24%となっています【グラフ】。

さらに一般書の蔵書数12万8394冊の分類別割合をみてみると、文学が全体の34%を占めていることがわかります【グラフ左】。1年間の貸出冊数は、18万2350冊にのぼり、蔵書数に対する貸出のバランスからみると、文学、技術、歴史、産業の分類のほか、マンガの利用回転率がとても高いことがわかります【グラフ右】。なお、くらしのコーナーの本は技術に、旅コーナーの本は歴史に、園芸コーナーの本は産業にそれぞれ含まれています。

現在図書館では、このような蔵書や貸出状況のバランスをみながら見やすい棚になるよう検討し、本の移動作業などを行なっています。

日本の美術工芸や伝統文化に造詣の深かった作家・随筆家の白洲正子。11月の展示テーブルでは、正子が愛してやまなかった美の世界、そして正子が影響を受けたたくさんの匠の世界をのぞいてみたいと思います。『祖母・白洲正子 魂の居場所』(白洲信哉著、小林庸浩写真/世界文化社/2002.10/289.1 円)にいざなわれて…。

この本は雑誌「芸術新潮」で昭和54年から連載された「日本のたくみ」のなかで、正子が関わった匠の方々との二十年後の対談集です。正子は、



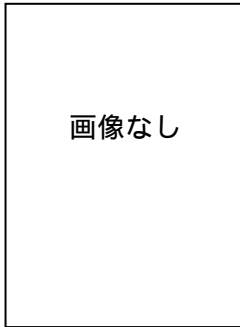
何よりも一日一日を一生懸命生き、黙々といい仕事をしようとする職人を愛し、「仕事人が人をつくり、人が仕事をつくる」との思いから多くの匠との出会いを重ねました。今回の対談相手である著者白洲信哉は、白洲次郎と正子の初孫にあたり、小林秀雄の孫にもあたります。祖母正子の取材旅行に同行したのがきっかけでともに旅をするようになり、多大な影響を受けました。

この一冊から白洲正子の美の感性、ふところの広さが理解できるのではないのでしょうか。

### 新しく入った本 CD DVD



**「わが子と読みたい日本の絵本50選」**  
(桑原聡著 / 産経新聞出版 / 2006.6 / 019.5 円)



この本は、50冊の絵本のあらすじと表紙、そして各絵本の一場面を紹介しています。

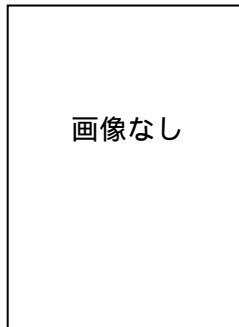
紹介されている絵本は、著者が息子に読み聞かせた経験から選ばれたものです。そのため、絵本に対する子供の反応が書かれているのも、この本の魅力。

大人と子供では、同じ1冊から感じることに大きな違いがあることしばしばです。一緒に読むからこそ気付く子供の一面。父子のやりとりにほのぼのさせられます。

この本を1冊読むと、50冊の絵本が読みたくなる、そんな素敵な力を持った本です。

### 映像 DVD

**「11人いる！」(NHK少年ドラマシリーズ)**  
(峯岸透演出 萩尾望都原作 山城はるか(ほか)出演 / 2006.2 / 778.4 円)

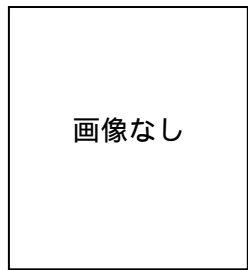


宇宙大学受験最終テストの内容は、10人1チームになり、53日間宇宙船の中で生きのびるというものだった。しかし実際に宇宙船に乗り込んだのはなぜか11人だった。疑問と不安の中、受験生たちは次々にアクシデントに見舞われる。彼らは果たして合格できるのか。11人目は一体誰なのか？

本作品は1972年から1983年まで放送された少年ドラマシリーズの中の一作品です。このシリーズは当時を懐かしむ人にも、今を生きる若者にも興味深いものではないでしょうか。

原作漫画は萩尾望都。多くの少女たちを魅了するのみならず、各分野の著名人にも多大な影響を与え続けてきた作家です。原作は少女漫画の可能性を広げた漫画史に残る傑作と言われています。図書館にも文庫版で蔵書(M8)がありますので、あわせて読んでみてください。

### 録音 CD



**「フィギュアスケート・アルバム - 銀盤のクラシック -」**  
(ジョン・ジョージアディス(ほか)指揮 ロンドン交響楽団(ほか)演奏 / Sony Music Japan International / 2006.6 / 110 円)

フィギュアスケートの試合には、クラシック音楽がよく使われます。トリノ冬期オリンピック金メダリストの荒川静香選手が使用した『トゥーランドット』は、一躍有名曲になりました。そ

の他にも銀盤の妖精たちの姿を彷彿させる、美しいメロディーの数々が収録されています。スピン・ジャンプ・ステップといった華麗な動きを含め、リズムカルにそして優雅に氷上で創り上げるスケーターたちのイマジネーションの世界を、その調べに重ね合わせてみてはいかがでしょうか。新たな感動がよみがえります。BGMとしても楽しめる一枚です。

### ふう～ん

#### ちんたらの語源

のろのろとやる気のない様を「ちんたら」といいますが、この言葉の語源は、焼酎造りの際に使われていた「チンタラ蒸留機」に由来しています。釜に火を入れるともろみが煮えたぎりチンチンと威勢よく鳴るのですが、その割に出てくる焼酎は効率が悪くタラタラとしか出てこないことから「チンタラ」と呼んでいたようです。

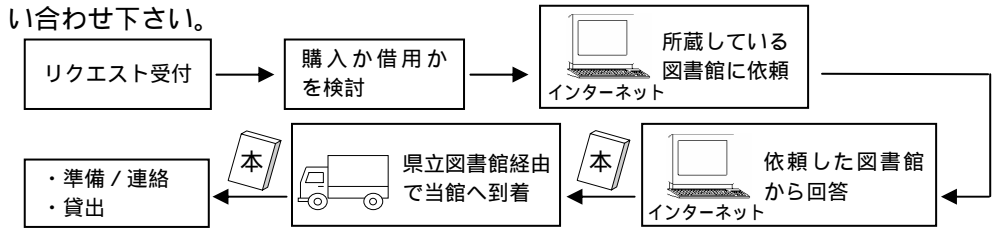
# 図書館発見

## 県内の図書館ネットワーク (相互貸借事業)

神奈川県内の公共図書館は、所蔵する資料(図書・雑誌)を有効活用するためにインターネットでネットワークを結び、お互いに貸したり借りたりできるシステムになっています。二宮町図書館もネットワークのルールである「神奈川県内公共図書館等の相互貸借ガイドライン」に従って資料の借受や貸出を行なっています。

利用者の皆さんがリクエストされた資料のうち、当館で購入が難しい出版年の古いものや専門的な内容のものなどは、他の図書館から借用して提供しています。検討の結果、借用することが決まると、インターネットで県内のどこの図書館に所蔵しているかを調べます。所蔵が確認できたら、ネット上でその図書館に借用の依頼をします。依頼先の図書館からは数日のうちに提供可能・不可能の回答があり、提供可能な資料は一旦県立図書館へ送られます。同様にして他館から送られてきた他の資料とともに県立図書館でとりまとめられ、週1回の定期便というかたちで発送されます。このような流れを経て当館に到着した資料は、確認作業等を行なったうえで、リクエストされた方へご提供しています。

なお、県内に所蔵が無い場合や、当館で購入して準備することが難しい場合には、確認ができた時点でご連絡を差し上げています。ご不明な点がございましたら、お問い合わせ下さい。



## ベストオーダー

2006年9月～10月

この期間に予約が多かった本です

### 【児童書】

- 第1位 十歳のきみへ - 九十五歳のわたしから -
- 第2位 ハリー・ポッターと謎のプリンス 上・下
- 第3位 などの黒い杖(妖界ナビ・ルナ 9)
- 〃 赤の妖精ルビー(レイボーマジック 1)
- 第4位 バッテリー
- 〃 青き竜の秘宝(妖界ナビ・ルナ 7)
- 〃 ダレン・シャン 4 パンパイア・マウンテン

### 【一般書】

- 第1位 名もなき毒 / 宮部みゆき
- 第2位 赤い指 / 東野圭吾
- 第3位 陰日向に咲く / 劇団ひとり
- 第4位 心にナイフをしのばせて / 奥野修司
- 第5位 憲法九条を世界遺産に  
/ 太田光・中沢新一
- 第6位 恋いちもんめ / 宇江佐真理
- 〃 アンフェアな月 / 秦建日子
- 〃 病気になるない生き方 / 新谷弘実
- 第7位 風の臺碑銘 / 乃南アサ
- 〃 闇の底 / 薬丸岳
- 〃 ダ・ヴィンチ・コード 下 / ダン・ブラウン

## 二宮ゆかりの人物

たけばやし むそうあん  
武林 無想庵 (小説家・翻訳家)

たけばやし むそうあん  
武林無想庵(1880～1962)は明治から大正・昭和にかけての小説家・翻訳家です。「ダダイスト」と呼ばれる作家の一人で、二宮には約1年半ほど滞在していました。

無想庵(本名:磐雄のち盛一)は札幌で生まれ、5歳で武林家の養子となり、上京後、東京大学英文科に入学しましたが、2年で中退。放蕩・放浪生活を重ね、大正9年(1920)に、元新聞記者だった中平文子と結婚し、フランスに渡りました。そして翌年に長女イヴォンヌが生まれます。

大正11年(1922)帰国した一家は、しばらくの間、文子の生まれ故郷の道後温泉で過ごした後、文子の継母のすすめで二宮にある文子の実家で暮らし始めました。ここは文子の亡き父が隠居するために建てた家で、この家の描写は『むさうあん物語 26』に次のように記されています。「二の宮駅の町をぬけ、踏切りを横ぎり、秦野街道から崖下の小川にかゝった小橋を渡り、水車小屋の前から二三丁、もう青々と四五寸ものびた麦畠をぬけ、そこに朝日を浴びて四五軒、家の塊った通りへ入ると、二軒目のそれが中平の家でした。」この『むさうあん物語 26』は日記形式で綴られており、翌12年9月1日の関東大震災直前までの出来事が記されています。さらに『むさうあん物語 30』では、「大地がだしぬけにユサユサと波打つ。イヴォンヌを抱いたまゝ、わたしは思わず横倒しになる。(中略)二の宮駅の

あたりから秦野街道へかけた、家並のたてこんだ空一面に、パッと代赭色の砂煙が焰のごとく舞い上がる。」と、震災時の二宮の様子や自宅から避難する様子、近所の松木医院に運ばれてくるケガ人たち、また東海道の沿線や世相などが書かれており、大変興味深い描写が見られます。無想庵は1年半ほどの滞在の間に『結婚礼讃』『文明病患者』の2作品を刊行しています。

震災後、一家は再びフランスへ。昭和5年、一人帰国した無想庵はまだ中学生の山本夏彦(のちのエッセイスト)と二宮でひと夏を過ごし、そして夏彦を連れてフランスへ戻りました。昭和10年、無想庵は文子と離婚し、その後両目を失明します。この『むさうあん物語』は再婚した妻・朝子の協力で口述筆記され、無想庵没後も刊行し、昭和44年に全46分冊で完結しました。なお、昭和5年の改造社発行『現代日本文学全集 41』の無想庵年譜は自身の手でまとめられ、末尾に〔相州二の宮原田前中平家にて〕と記載されています。

画像なし

『むさうあん物語』

このコーナーでは、二宮にゆかりのある人物や文学作品等をご紹介します。ここで紹介された人物や作品関連の情報がありましたら、図書館までお寄せください。

参考資料 『むさうあん物語 26』、『むさうあん物語 30』(武林無想庵作・武林朝子筆記/無想庵の会/1965) 『放浪通信』(武林無想庵作/記録文化社/1973) 『盲目日記』(武林無想庵・朝子著/記録文化社/1972) 『現代日本文学全集 41』(改造社/1930/NY 30) 『無想庵物語』(山本夏彦著/文芸春秋/1989/910.2 7)



# お知らせ・お願い

## 特別館内整理（蔵書点検）が終了しました

2階の日本の小説のスペースを広げました。それに伴い、全集や外国の読み物など大幅に棚の位置を変更しました。

休館中はご不便をおかけしました。ご協力ありがとうございました。

## 書庫の本紹介コーナーを設置しました

2階の小説の棚の先頭にあります。書庫のなかで、よく読まれそうな小説を3ヵ月ごとにテーマを設定して入れ替えていきます。

## 雑誌の休刊・新装刊と保存期間の変更のお知らせ

休刊・・・「AB・ROAD」(10月号で休刊)

新装刊・・・「アスキー」(12月号から)

保存期間の変更・・・「趣味の水墨画」1年 2年(2006年10月から)

## 雑誌のリサイクルコーナー設置日の変更

2006年の12月は、24日が図書館休館の為、12月17日(第3日曜日)に変更になります。〔通常は第4日曜日〕

## 年末年始休館のお知らせ

年末にコンピューターシステムの更新作業を行うため、12月24日(日)～1月4日(木)まで休館させていただきます。長期の休館となり大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

12/28～1/4の期間のポスト返却はご遠慮ください。

# 利用者の声 Q&A

**Q：蔵書の検索をインターネットでできるようにしてほしい。**

**A：来年(2007年)1月より、二宮町図書館のホームページを開設します。インターネットで、二宮町図書館に所蔵する図書・雑誌・AV資料の検索ができるようになります。また、神奈川県立図書館のホームページからも、県内公共図書館の横断検索機能を使って検索できるようになります。なお、ホームページからの直接予約に関しては、来年度中(4月以降)に行う予定です。詳細については、今後、図書館だより、館内掲示、町広報等でお知らせしていきます。**

# 行事

くわしくはお問い合わせください。

## ちいちゃいおはなし会

11月 8日(水)  
12月 13日(水)  
1月 17日(水)

## おおきいおはなし会 小学生からおはなし会とおりがみあそび

11月 18日(土)  
12月 16日(土)  
1月 20日(土)

## わらべうたであそぼう!

11月 17日(金)  
12月 15日(金)  
1月 19日(金)

## 雑誌のリサイクルコーナー

11月 26日(日)  
12月 17日(日)  
1月 28日(日)

1月20日の会場はラディアンミーティングルーム2です。

# 展示テーマ

10月 | 一般 / 『推理小説を読む - 英米古典小説を中心に -』  
| 児童 / 『あきいろ』  
| A V / 『食欲の秋 料理の秋』

11月 | 一般 / 『白洲正子 美と匠』  
| 児童 / 『じてんしゃにのって』

## 特設展示

10月・・・『坂口安吾 生誕100年』

11～12月・・・『クリスマス・年末・お正月特集』

## 地域資料コーナー 展示ケース

10～12月・・・『二宮ゆかりの人物 市川三升(十代目市川團十郎)』

1～3月・・・『二宮ゆかりの人物 窪田空穂』

## 書庫の本紹介コーナー

10～12月・・・『時代小説』

1～3月・・・『芥川賞・直木賞』

## ひとつだけ ～編集後記にかえて

10月中旬ごろになると、ラディアンから見える2本の木の葉の変化を見るのがちょっとした日課になっている。ラディアン隣地のふれあい広場のナンキンハゼと果樹公園のイチヨウの木である。紅葉時にはナンキンハゼの赤、イチヨウの黄色が背後の緑の木に映え、とてもきれいなのである。遠くに行かなくても、こんな身近に毎年紅葉が楽しめるポイントがあるのがちょっとした秘密の場所のようでもある。